

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年4月の動向

- 広島市総合指数（99.7）は前月比で下落。前年同月比は13か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で3か月ぶりに下落（▲0.5）。前年同月比は13か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.6）は前月比で3か月ぶりに下落（▲0.7）。前年同月比は13か月連続で下落。
- 高校授業料無償化等の影響により、教育指数が比較可能な指数作成開始以降、前月比及び前年同月比ともに初の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.7	▲0.2	▲1.4
生鮮食品を除く総合指数	99.7	▲0.5	▲1.6
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.6	▲0.7	▲1.8

3 前月からの動き

～食料，被服及び履物が上昇。高校授業料無償化等の影響で教育が下落。～

(1) 10大費目の動き

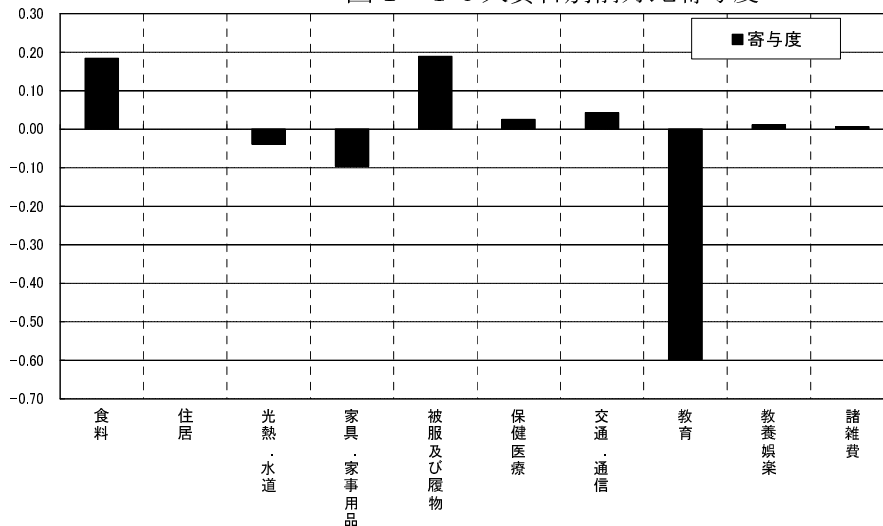
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.7	103.0	100.8	104.5	82.0	105.0	98.2	98.9	93.5	93.2	101.5
前月比 (%)	▲0.2	0.7	0.0	▲0.6	▲3.2	3.7	0.6	0.3	▲11.8	0.1	0.1
寄与度	▲0.20	0.18	0.00	▲0.04	▲0.10	0.19	0.03	0.04	▲0.60	0.01	0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 育 : 授業料（前月比 ▲16.0%，寄与度▲0.59）等

被服及び履物 : シャツ・セーター類（前月比 10.6%，寄与度0.10）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻（キャベツ等）	7.7%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
シャツ・セーター類（婦人セーター〔半袖〕等）	10.6%	室内装備品（カーテン 等）	▲18.2%
洋服（背広服〔夏物〕等）	4.0%	電気代	▲1.9%
自動車等関係費（ガソリン 等）	0.9%	果物（レモン 等）	▲4.0%
菓子類（チョコレート 等）	1.0%	交通（航空運賃）	▲1.0%

4 前年同月からの動き

～高校授業料無償化等の影響で教育が主な下落要因で、13か月連続の下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.4	▲1.2	0.6	▲4.6	▲7.4	▲1.8	▲0.2	2.3	▲11.8	▲2.4	▲0.9
寄与度	▲1.38	▲0.31	0.11	▲0.32	▲0.23	▲0.10	▲0.01	0.31	▲0.59	▲0.25	▲0.06

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

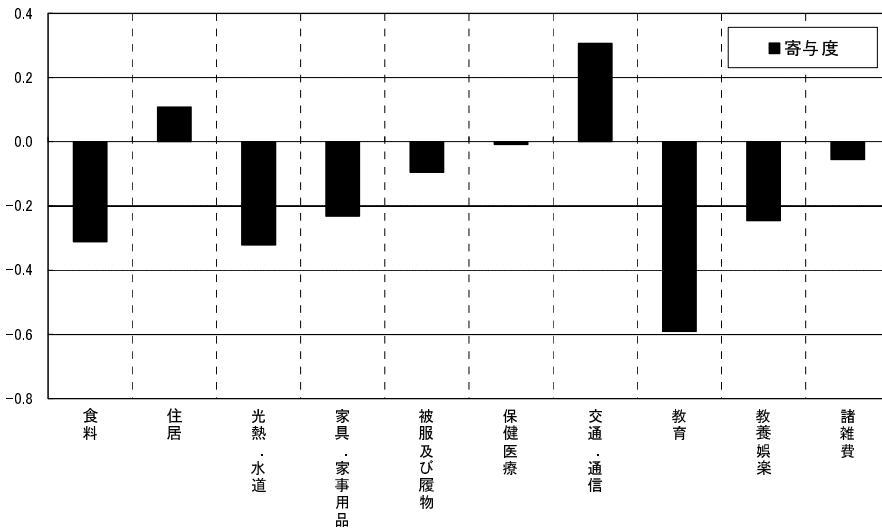
教 育 : 授業料等（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等

光 熱 ・ 水 道 : 電気代（前年同月比▲10.1%，寄与度▲0.31）

ガス代（前年同月比▲3.5%，寄与度▲0.08）等

食 料 : 肉類（前年同月比▲7.1%，寄与度▲0.17）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン 等）	5.2%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
家賃（持家の帰属家賃〔木造中住宅〕 等）	0.5%	電気代	▲10.1%
他の光熱（灯油）	24.1%	肉類（肉類〔国産〕 等）	▲7.1%
野菜・海藻（ねぎ 等）	2.2%	教養娯楽用品（ペットフード〔ドッグフード〕 等）	▲7.3%
外食（ハンバーガー 等）	0.4%	室内装備品（カーテン 等）	▲26.4%